

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○志水 朱 池森 康裕 高橋 由紀

【概 要】

入所施設の役割と機能、施設利用者とその家族の生活ニーズを理解し、専門科目で得た基本的な知識・技術を、実習を通じて実践するための具体的な方法について学ぶ。

個々の学生が持つ関心対象や疑問・不安などに焦点をあて、自信を持って実習に望めるようになる。

【学習目標】

1. 入所施設の概要と利用者の生活像を整理・理解でき、介護福祉士としての役割を明確化できる。
2. 他者理解に必要な基本的コミュニケーション方法やマナーを習得する。
3. 実習のイメージを膨らませ、自身の目標や学習課題を言語化・明確化できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	実習の意義と目的、実習の構成、実習で何を学ぶか、事前学習への取り組み、個人調査票を記入する。	志水 池森 高橋
2	実習施設の理解	①介護老人保健施設の特徴と、施設生活をおくる利用者の自立支援方法についてを学ぶ。 ②障がい者のQOL向上と、自立支援を目指した介護の知識と技術を習得する。	志水
3	実習施設の理解	①障がい者支援施設の特徴と、施設生活をおくる利用者の自立支援方法についてを学ぶ。 ②障がい者のQOL向上と、自立支援を目指した介護の知識と技術を習得する。	志水
4	実習施設の理解	分野別対象者理解、個人課題に沿った事前学習。	志水
5	倫理について	事例をもとに介護職に求められる倫理観を理解する。	志水
6	記録の理解	客観的事実を記録する必要性の理解及び適切な記録方法の習得。観察ポイントと表現方法を理解する。	志水
7	コミュニケーションスキルについて	円滑な人間関係を構築するためのスキルを習得する。実習生に求められる態度などロールプレイを行う。	志水
8	実習施設の理解	実習施設の理解、施設の役割・機能・関係法規など、実習課題の検討 生活支援技術の確認。	志水
9	カンファレンスの理解	カンファレンスの方法、目的より効果的なカンファレンスを行うためにグループワークにて検討。	志水 池森 高橋
10	事前訪問	施設訪問、実習課題提出 実習の留意事項。	志水 池森 高橋
11	実習の振り返り	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	志水 池森 高橋
12	実習の振り返り	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	志水 池森 高橋
13	実習の振り返り	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	池森 高橋
14	実習報告会	実習報告会。	志水 池森 高橋
15	実習のまとめ	実習評価「介護福祉実習Ⅲ」に向けて課題の整理、実習報告書作成。	志水 池森 高橋

【評価方法】

事前・事後学習への取り組みなど40% 介護実習報告会評価30% 実習報告書30%

なお、評価に関しては複数の実習担当教員の合議により行う。

【備 考】

教科書 ： 特に使用しない

参考書 ： 介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』中央法規 2019

その他 ： この科目は介護福祉士国家資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【学習の準備】

介護老人保健施設や障がい者支援施設の特徴について調べ、基本的な生活支援技術を復習しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実務経験】

志水 朱（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）、池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士）、高橋 由紀（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。